

2012

岐大通

2012 J.League Division2

第27節 アビスパ福岡 戦

8/5 (日) 18:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

8/5号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田鑄造

today's guest: アビスパ福岡 2011 J1 6勝 4分 2敗 勝ち点 22 第1位

198年に静岡県藤枝市で結成された『中央防犯サッカー部』は静岡県中西部リーグ3部からスタートして創部からわずか10年で「日本リーグ(JSL)2部」にたどりつく。Jリーグ参入を念頭に『藤枝ブルックス』となった1994年はセレッソ大阪や柏レイソルと熾烈な上位争いを展開(24勝6敗で3位)。翌年に福岡に移転し『福岡ブルックス』としてJFL優勝、J参入を果たすと同時『アビスパ福岡』となる。参入後は毎年苦戦が続いたが、1998年のJ2創設時に行われた『J1参入決定戦』でもしぶとく生き残り、アビスパのグッズが「落ちない」お守りとして受験生から注目されるまでになった。しかし、ついに2001年シーズンを総合15位で終えてJ2降格。以後、2度のJ1昇格とJ2降格を経験する。最高位は2000年のJ1・総合12位。

(吉田鑄造)

前節のアウェイ・ガイナレ鳥取戦を落としてしまったFC岐阜。「勝たなくてはならない」下位との対戦で、不運だったとはいえ失点をして敗戦。順位は19位と変わっていないものの、勝って下位チームとの勝ち点差を広げておきたかった試合の残念な結果により、鳥取に勝ち点で岐阜と並ばれてしまった。20位の富山も勝ち点を18にまで積み上げたので、その差は2点だ。下位2チームに一気に追いつかれてしまい、順位的に苦しくなったFC岐阜。これで7月の成績は3分2敗。6月が2勝2分1敗で最下位を脱出したことと比べると、足踏みをしてしまった感は否めない。ここで再び気持ちを入れ替え、危機感と共に1試合1試合を丁寧に戦っていかないと、順位が更に下がってしまう危険もある。8月に入り、もう一度自分たちのサッカーを見つめ直して、ひたむきに戦って欲しいところだ。

さて、8月に入って最初の対戦相手はアビスパ福岡。現在は4連敗中で順位も1位と後退しているが、昨年はJ1に所属していたチーム、油断は禁物だ。特に攻撃陣にはタレントが揃っており、#10MF城後寿は9得点、#15FW坂田大輔が8得点を挙げており、要注意選手だ。

前回6月1日のアウェイでの対戦では、苦戦しながらも守備を固め、アディショナルタイムには中島の「幻のゴール」があったものの、0-0と引き分けた。不思議なことに、福岡とはアウェイ戦では3勝1分1敗と相性が良いのだが、逆にホーム戦では1分3敗と勝てていない。今節こそ、ホーム長良川の地で福岡に勝利し、再びチームに勢いをもたらしたい。そのためには、まずは福岡の攻撃陣を全員でしっかりと押さえ込むことが重要だが、やはり夏休み期間に入って初めてのホーム戦なのだから、積極的にシュートを狙い、スタジアムの観客の声援を味方につけて、試合の流れを掴む姿勢も欲しいところだ。このホームを歓喜の声で沸かしてくれるのは誰なのか。ホーム初登場のアブダなのか、あるいは「幻のゴール」のリベンジに燃える中島なのか、それ以外の選手の活躍にも期待したい。

(ささたく)

◇『岐大通』バックナンバーのお知らせ

すべてのバックナンバーを「吉田鑄造総合研究所」でpdfファイルを公開しています。配布時はA3サイズだったものも、こちらではご自宅などで印刷しやすいよう、すべてA4サイズに修正いたしました。下記アドレスをご参照ください。

<http://www.cyic.co.uk/fcgifu/gidaidohri.html>

次回 HomeGame

第29節 ファジアーノ岡山戦

8/19 (日) 19:00

@長良川球技メドウ【いつもの「メモリアル」ではありません】

投稿募集! gidaidohr@hotmail.co.jp

2012J2 順位表 第26節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 岐阜から見て

1 甲府	50p	+17	38	21	H●	A△
2 千葉	49p	+23	40	17	A○	
3 東京V	49p	+20	48	28	A●	
4 湘南	49p	+16	43	27	A●	
5 大分	48p	+8	38	26	H●	A△
6 山形	47p	+10	35	25	A●	
7 京都	46p	+9	37	28	H●	
8 栃木	44p	+8	34	26	A△	
9 横浜FC	41p	+10	40	30	H●	
10 水戸	36p	+1	28	27	H●	
11 岡山	36p	-3	20	23	A○	
12 徳島	34p	+1	26	25	A●	
13 愛媛	32p	+3	33	30	H△	
14 北九州	32p	-5	27	32	H○	
15 松本	32p	-6	22	28	H●	
16 草津	31p	-6	20	26	H△	
17 福岡	30p	-6	32	38	A△	
18 熊本	29p	-12	21	33	A●	H●
19 岐阜	20p	-21	15	36	==	==
20 鳥取	20p	-33	20	53	H△	A●
21 富山	18p	-16	21	37	A●	H△
22 町田	14p	-24	17	41	H○	



本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>

ALADDIN

何も無い店だけど...

心の花が咲く...

何も無い店だけど...

心癒される...

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしゃいませ」より

「おかえりなさい」が似合う

アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は

JR岐阜・名鉄岐阜駅から

徒歩3分。

休: 日曜日 (今日はお休みです)



岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998

【第24節】岐阜2-2富山

●富山との東海北陸ダービー、Awayでは敗戦を喫しているだけにここで勝ち点3を挙げ勝ち点差を突き放したいところであったが、残念ながら引き分け、勝ち点1を分け合う結果となってしまった。

試合は点の取り合いとなるシーソーゲームとなったが、岐阜は後半同点に追い付いてから、チャンスを多く演出していただに勝ち越し点が奪えなかったのが悔やまれる。

富山は岐阜の天敵ともいえる（苦笑）朝日大輔が今シーズン初出場、わざわざ岐阜戦に合わせて調整をしてきたのかと思えるくらい（笑）。いつも富山にやられるときは、この朝日が得点に絡んでくるのだが、このゲームで先制を許したときも朝日からのパスを受けた木村にペナルティエリアの少し外からのシュートを決められてしまう。エリア内にはディフェンスの人数を割けていたものの、その外側にいた木村にはチェックが甘かったかなと。

このまま前半を折り返されるかというところで前半終了間際、佐藤一染矢のホットラインで同点に追い付く。これでいい流れで後半を迎えられるはずだった。

だが再び後半早々に突き放される。ソドンヨクのみドルシュートは無回転でゴールに向かって飛び、時久が弾いたもののゴールに吸い込まれてしまった。その後、岐阜も負けじと樋口が無回転のみドルシュートを決める。樋口はこれがホーム戦初ゴールだったとか。今節は出停明け、更にゴールを期待したい。

岐阜の1つ上にいる熊本との勝ち点差が開いており、今後下4つの勝ち点が近いだけに争いが熾烈になると予想される。他チームの動向に惑わされることなく目の前の試合に集中して、勝ち点3をもぎ取っていこう！

（岐阜の誇り）

●チームの調子が良くなってきているからか、フロントが営業を頑張ったからか、それともクラブの経営危機が報道されて注目されているからなのか（苦笑）、今季最多の6313人もの観客が集まったホーム長良川。「台湾ナイト」のイベントも、3連休の中日ということも影響してくれたかな？やっぱり6000人も入ると、試合前から屋台村は賑わっていたし、（バックスタンドの中央部分に国体用のスタンドがあるのも理由だけど）スタジアムの密集度や雰囲気ガラリと良くなるなぁ…と再確認させてもらった。今後も、是非ともこれぐらいの観客の皆さんに集まって欲しいものです（切なる願い）。

そして、一部の岐阜サポの間では「天敵」認定されている富山の#7MF朝日大輔、今季ずっと怪我だとかで出場してなかったんだけど、いきなりスタメンで出てきた時はビックリした…（苦笑）。

さて、肝心の試合はというと…うーん、やはりルーキーながら今季の主力CBである関田を累積警告で欠いたのと、ハンジェがスタメンではなかった事が大きく影響してしまったのかなぁ、というのが正直な感想。富山の2点は、両方ともフリーな状態でみドルシュートを撃たれて失点したもので、あの位置できちんと相手をチェックしていたら、あるいは防げたかもしれないと思う。まぁ確かにJ2レベルでみドルシュートが決まるシーンはそれほど多くないから、油断してしまったのかもしれないけど…（溜息）。時久も、（1点目はノーチャンスだったと思うけど）2点目の時は難しいプレ球を、何とか枠から弾き出してほしかったなぁ…（溜息）。

せっかく6000名の入場者でのホーム戦だったのだから勝たなかったけれど、攻撃陣が（なんと開幕戦以来の）2点を挙げてくれたのは素直に喜びたいと思う。特に2点目の樋口のみドルときたら！富山にみドルで決められたお返しとばかりの、美しい弾道を描いたドライブシュートだった。ああいうシュートを撃てる技術があるんだから、どんな位置からでも、もっともっとシュートを狙う貪欲な姿勢を見

せて欲しい。（ささたく）

●小雨もパラついたりしましたが、なんとか天気は保ってくれました。せっかく、台中市から副市長がお越しになり「台湾ナイト」と銘打ってブースも出るというイベントがあったんで、とりあえずはよかった。いくつか試してみましたが、満足できたのは台湾ビールくらいかな？（苦笑）こんなもんじゃないよね？台湾の実力は。

さて。ウチの実力はこんなもんかどうか。うーん、なんとも言いようのない悔しい引き分け。先制され、引き離されながらも再度追いついたのだから、それなりに安堵感はあるけど、やはり満足、上出来とは間違っても言えないな。オマケに、アウェイでは試合でも試合以外でも「はらわたの煮えくり返る思い」をしたので、どうしてもやり返してほしかったが溜飲を下げるには至らなかった。

繰り返しになるけど、展開的に二度も追いついたんで、テンション上がったのは事実。けれども、前後半の開始直後にみドルを決められるっていうのは、やっぱりチョットいただけないね。スタジアムでは「まあ、2点目はしょうがないか。」と思ったのだが、あとで録画を見たら防げたような気もする。時久の様子を見るに、ボールの軌道が変わったのだろうか？返す返すも残念だ。それから、なんかウチの方に思い切りが足りなかったような気がする。

直接対決で負けられない相手、勝たなきゃいけない相手に引き分けたことは本当に悔しいし、残念だ。とりあえず、順位をひっくり返されなかったことはよかった……、そう思うしかない。厳しい戦いは、まだまだ続く。僕らもタフにならなくちゃね。

そういえば。今日の結果で、「Top of 北アルプス」とやらのウチの優勝は消えたワケかな？初代チャンピオンになれなかったのは残念だが、いちばん大事なミッションはそれじゃないからね。来季の楽しみにしておこう（笑）。

（ぐん、）

【第25節】大分2-2岐阜

●FC岐阜が、東海L1部時代（2006年）に（JFL昇格を賭けた）全国地域リーグ決勝大会で、5試合5得点と貢献した池元友樹。そして、JFL時代（2007年）に8試合4得点を挙げて、J2昇格に貢献した相川進也。2人はいずれも、途中からチームに加入した「32番」をつけたストライカーだったことから、当時を知る一部の岐阜サポの間では「32番は救世主ナンバー」という話（サポの思い入れ？）が広まっていた。

そして、今季。32番は空いていたんだけど、7/20に加入が発表されたアブダ選手の背番号が#32と知って、僕は正直驚いた。しかも「ストライカー募金」も使ったということで。FWだってのは同じとして、練習やTMを見ているサポ仲間の話では、「それほど良い選手では…」というような評価だったからだ。クラブが#32を与えたのは、知っててなのか偶然なのか…。

そして、出場可能となった大分戦でいきなりスタメン。まぁ確かに以前から練習に参加してたって事だから、連携は大丈夫かもしれないけど、試合感覚は不安なんじゃないかと、試合開始まで僕は思っていた。

ところが、だ。このアブダが実に良く効いてることといったら（苦笑）。ポストプレイヤーではないけれど、前線でボールを溜められるから、後ろから選手が上がってこれて攻撃に厚みが出る。こんな厚みのある攻撃ができるFC岐阜ってば、久しぶりに見た気がする…（感激&苦笑）。そして、初出場にして初&同点ゴール！強烈なシュートではなかったけど、技ありの綺麗なシュートだった。

その後、ハットさんの9年ぶりのゴールで逆転。大分にアウェイ初勝利か…とドキドキしたんだけど、ギアを上げてきた大分の攻撃陣に対して、スタミナあるいは集中力が切れたDF陣がゴール前で#9MF三平の飛び込みを許して

しまい、同点を許してしまった。あの時間帯までは、ほぼ岐阜のペースで試合を進めることができていたから、非常に残念な失点、そしてドローという結果だった。ともあれ、デビュー戦で強烈な印象を与えてくれたアブダ選手。ごめんなさい、本番じゃないと実力を発揮しない南米タイプの選手なのね（苦笑）。スカパー！で先ほどの「32番」の話が紹介されたということは、クラブが期待して#32を与えたということも判った。もちろん、1試合だけでは評価できないけれど、これから期待しちゃうよ！（ささたく）

●大銀ドームは山の上にある。ただ、掘り下げで造ったスタジアムのため、コンコースにいる時は風が吹き抜けて気持ちがいいのだけれども、いったん席につくと風が降りてこないで途端に蒸し暑くなってしまう……、というのが過去の経験なのだけれど、なぜだかこの日は座席の方まで風が吹いてきてくれてズイブンと助かった。試合の内容もアツかっただけに余計にね（笑）。

この試合。契約を発表したばかりのアブダ選手がスタメンというサプライズ。前節で洗一が得点を決めていたし、練習やトレーニング・マッチを見ていた人などの風評によれば「ワンタッチ・ゴーラー」だったので、まさか、いきなりはないだろうと思っていたからだが、発表されてしまえばいかにも行徳さんらしい起用法。期待半分不安半分で迎えたキックオフ。だが、噂に反しワンタッチ・ゴーラーどころか、ボールをキープし、運び、パスを出すという待望久しいポスト・プレーヤーぶり！ポスト・プレーができる選手が機能するとどういう効果がもたらされるのか？それが如実にわかる試合だった。後ろからの押し上げができるようになりサイドアタックの威力が増す。樋口や平はもちろん、染矢が実にイキイキとして大分守備陣に穴を穿ち続ける。なんか、もうワクワクが止まらなかったけれど、好事魔多し。まさかまさかの自陣ペナルティエリア内でのファウル。ボクの目にはなんでもない接触のように見えたのだが、後ろから足を入れたプレーは若干軽率といえるかもしれない。相手の体勢からはパスも危険なシュートもできなかったはず。東京戦でも同じように軽いプレーでPKを献上している。樋口は今後十分注意してほしい。

思わぬ失点でリードを許したまま迎えた後半だったが、ついに歓喜の瞬間が訪れる。明弘からのボールを受け、ドリブルでペナルティエリア内に侵入したアブダが相手のチェックにバランスを崩しそうになりながらシュート。決して威力のあるシュートではなかったが、逆にコースだけを狙った、ボクらの位置から見ても鮮やかな弧を描いたのがわかる技ありのゴール！しかも、決めた後にボくら岐阜サポの方へ一目散に駆け寄ってきてくれた姿にゴール裏は狂喜乱舞。

さらには、押せ押せのムードの中、大分を突き放すキャプテンの逆転ミドルが決まり、このまま終わればホントに言うことのない展開だったのだが……。そこは、前節敗れたとはいえ首位に立ったこともある大分の底力だったか。とはいえ、全体を見ればどちらがホームか？というくらい岐阜の方が優勢だったように思うので、勝ち点2を落とした試合と言えるかな？

ただ、「楽しい試合だった。」と言える試合だったし、アブダとの連携を深め、お互いを生かした試合内容を継続し、さらに精度を高めていってほしいと切に願う。早く、長良

川でアブダを見たい！と思うのだが、次節もアウェイという罠だった……。（ぐん、）

【第2節】鳥取 1-0岐阜

●名神から中国道。途中で一般道を経て鳥取道で5時間弱。一見遠そうに思える鳥取も、時間的には甲府、湘南（平塚）、そして徳島（鳴門）とたいして変わらない。そのうえ、是が非でも勝っておかなければならない相手とあらば、アウェイ・ゴール裏にかなりの人数が集結するのも必然の流れ。移動中の道路に表示された気温にゲンナリしたもの、いざスタジアムに到着してみると、暑いことは暑い風も吹いており、それほど蒸し暑くも感じない。鳥取の人はビックリするかもしれないが、前日の岐阜の暑さと比べたら、そりゃあねえ（苦笑）。暑さなら、岐阜の圧勝だった。それにしても、鳥取に勝てない。昨季に鳥取がJ2に昇格してから2敗2分け。今日もそれなりに決定機を作り、ひいきめには押していたように思えたのだけれど、実際は鳥取にもあわやのシュートを撃たれたり、当てるだけで1点というクロスを通されたりしていたから、キャプテンの言うように「0-0で終わる試合」というのもわかるし、この結果も受け入れるしかない。

前節の大分戦で、いきなり結果を出してくれたアブダも本日は不発。まったく情報のなかった大分と違い、しっかりスカウティングされるとやはり厳しい。初のスタメンだったらしいが、代表経験もある鳥取のコスタリカ人DFロイ・スミスを始め相当のチェックを受けて、アブダ自身もストレスの溜まる試合になってしまったのではないかな？それでも、何回か攻撃の起点にもなってくれていたし、逆に彼がチェックを受けるということは、その分周りの選手がフリーになるチャンスがあるということで、それを想定した練習を積んで得点パターンを確立してほしい。また、そうでなければ、今後の試合での展望が開けなくなってしまう。守備は形ができています。あとは、得点のみ。

それから、この試合で前節のアブダに続き、スタメンでこそなかったもののサブメンバーに名古屋からレンタルでの獲得を発表したばかりの新井が登録された。いかにも行徳さんらしいやり方だったが、DFだけに連携面とか試合勘とかを考慮してこの試合では起用しないだろうなと思っていたら、終盤に明弘と交替。しかも、本職のDFではなく前線のターゲットマンとして起用された。今までこのような「パワープレー」を仕掛けてこなかった行徳さんだけにいささかビックリしたが、それだけ「負けるわけにはいかない試合」という判断だったんだろう。ただ、前線に上げるのを新井ではなく関田という手もあったが、守備の連携面などのリスクを考えての選択だったと思う。クロスを上げる明弘を下げたが、最終ラインからのリスタートやロングボールなら秀人もふだんからやっているワケで、打つべき手は打ったという状況だったが残念ながら実らなかった。ただ、シーズン終盤に向けての戦い方というか意志表示はできたと思う。現時点での下位グループとの対戦はアウェイの町田戦を残すのみ。あとは上位との試合ばかりで厳しい状況になっているが、考えてみれば上位との試合の方が結果を残せているので、臆することなくガムシャラに戦ってほしい。また、それを力一杯後押ししていくし、できる限り現地で声援を送りたい。共に戦おう！（ぐん、）

F C岐阜サポによるゲリラ的U s t 配信番組

今シーズンからのサポーター発信企画として、基本的にホーム戦の前日に、インターネットの動画共有サービス「ユーストリーム」を利用した手作り感満載の番組を下記アドレスで放送しています。
サポーターの『生の声』をお愉しみください

<http://www.ustream.tv/channel/sstak12-fcgifu>

次回は8/18（土）21:00開始の予定です。

